



平成 29 年度

法人本部・新生園・ワークセンターむろおか
地域交流フェスティバルを開催しました！



しんせい

第 21 号



ハラハラドキドキ！
職員によるパフォーマンスも
大盛り上がり☆



かっこいいギター演奏とステキな歌声が
ベストマッチでした！！



せいちゃんの出演で
会場に笑顔があふれました
(*^_^*)



かわいい恋ダンス♪
みんなの息もピッタリ！



真剣な表情！
たくさん練習して頑張りました(^ ^)

発行元 社会福祉法人 新生会

〒〇二八―三六二五

岩手県紫波郡矢巾町大字室岡二―二八―一

TEL (〇二九) 六二―〇二四二

FAX (〇二九) 六二―〇二五二

理事長新年挨拶

社会福祉法人 新生会
理事長 阿部 肇男



明けましておめでとうございます。平成三十年を迎え、新年のご挨拶申し上げます。

新生会は、昭和五十八年に重度身体障害者授産施設「新生園」が開設して以来、今年で創立三十五年目を迎えました。

昨年は、新生会第IV期中長期計画に基づき、老朽化していた「あさあけの園」の新築整備計画を進めて参りましたが、十二月十三日に無事落成式を迎えることができました。盛岡広域振興局、矢巾町、地域の皆様、関係各位の皆様方から感謝申し上げます。

あさあけの園の新築に伴い、昨年四月に紫波町・矢巾町より「紫波地域障がい者基幹相談支援センター」としての委託を受けた「相談支援事業所しんせい」の事務所も二階に移転しました。「あさあけ

の園」及び「しんせい」が入居することにより複合的な障がい者支援施設として、地域における障がい者福祉に大きく貢献ができるものと考えております。

また、昨今広く言われることとして、福祉人材の確保・育成が課題となっておりますが、新生会では、従来の募集方法の他、ホームページやリクナビを活用し、新規人材確保を図ると共に各種研修への職員派遣だけでなく、法人内研修を活発化させ、サービスの質の向上に努めております。

本年も昨年同様、地域における社会福祉法人として役割を果たしていくために、質の高い法人経営に取り組んで参りたいと存じます。結びとなりますが、本年も皆様にとって実りの多き一年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。



平成29年度役職員交流会

十一月十一日、ホテルメトロポリタン盛岡本館にて、第六回目となる役職員交流会を開催しました。この会は、役員及び職員間の親睦を図ることを目的として毎年開催しております。施設職員同士の情報交換の機会がなかなか無いため、このような場を設けることで、互いの交流を深めることができ、役員の方々にも施設の状態をお話しする機会でもありますので、交流会は貴重な行事の一つです。

今年度は、テーブル対抗で新生会に関するクイズを行いました。新生会マスコットキャラクター「せいちゃん」が飛び入りで参加したので、せいちゃんを初めて見た職員は、一瞬驚きでざわつく場面も…。でも、せいちゃんの一生懸命盛り上げる愛くるしい姿に、評判も上々でした。せいちゃんもこれから様々な場面で登場すると思いますので、どうぞお見知りおきを。



新生会〇×クイズ!!



ぼくも参加したよ♪



理事長挨拶

当法人のホームページは、平成三十年一月からリニューアルをいたしました。旧バージョンは平成二十七年から三年間運用して参りましたが、当面の目標であった「社会福祉法人に求められる情報開示義務」と「利用者」とご家族に向けた活動報告ブログ」の形づくりができあがり、お陰様で四万件を超えるアクセスをいただきました。ブログについては、各施設の職員の協力により、施設行事に限らず日々の情景や研修風景など多彩に富んだ記事がアップされており、各施設の雰囲気伝えるひとつの手法として取り組んでおります。しかし「ホームページをもっと見やすくできないか」「ホームページをもっと有効に使用できないか」と検討を重ねた結果…



(イメージ)

従来のページでは、左右にメニューがあったため、お伝えしたい情報の部分が小さくなってしまっていました・・・



『より大きな画面でお伝えしたい』という結論に至り、従来のホームページより大きく表示する方法に変更いたしました。さらに、若手職員にヒアリングを行い、従来のホームページに足りないものをリサーチ。「求人情報をもっと強化しては?」「固いホームページは見たくないです」といったご意見の中でも一際目立った「時代はスマートフォンです!」という意見を取り入れて、スマートフォン向けページの充実を図る予定です。また、求人情報についても、今後拡充していく予定です。どうぞお楽しみに!

私たちの仕事を皆様にお伝えするために本紙のような広報紙もあります。ありますが、ホームページであれば日々の動きをいち早くお届けすることができます。今後とも当法人ホームページを要チェックしてください!



(イメージ)

新しいページではメニュー表示を右側のみにして、お伝えしたい情報を大きく表示できるようにいたしました!!



(イメージ)



(イメージ)



スマホ表示もこのとおり! 求人情報も拡充予定ですので、気になる方は左のQRコードからアクセス!



あさあけの園・しんせい 落成式

矢巾町の又兵衛新田にて運営している『あさあけの園』ですが、老朽化対応等による新築整備計画を進めてまいりました。着工から約一年、本年十月に鉄骨二階建ての建物が完成し、十二月十三日には関係者が一堂に会して、『あさあけの園・しんせい』の落成式が行われました。

『あさあけの園』は、昭和五十九年十二月、矢巾町手をつなぐ親の会の「障がいのある子どもたちのため、日中活動の場を作らなければならぬ。」という熱い思いから生まれた福祉作業所が原点です。昭和六十三年四月には、当時拠点としていた新生園の一角から現在地にありました旧矢巾町母子センターへと移り、矢巾町手をつなぐ親の会の運営のもと、矢巾町や矢巾町社会福祉協議会の協力を得て活動をしておりましたが、平成十九年四月に法改正による新サービス体系移行が必要となったことから当法人に経営移管され、現在に至っております。

これまでは就労継続支援B型事業所として運営しておりましたが、十二月からは生活介護も有する多機能型事業所（就労継続支援B型十四名、生活介護六名）として運営しており、一階東側のプレイルームと作業室にて、生活介護の活

動および枝豆の殻剥き、トマトの加工作业、メール便の配達等の作業をしております。

西側の菓子製造室、喫茶店（Cafe あさあけ）では、ロールケーキやクッキー等の自主生産品の製造・販売を行っています。



プレイルーム

ここは利用者の食堂としても使っています。



ちょっと一息 Café あさあけ
美味しいコーヒーとクッキーはいかが？

二階には、『あさあけの園』の事務所と『相談支援事業所しんせい』の事務所があります。

しんせいは、平成十八年十月に『障害者地域生活支援センターしんせい』として開設され、盛岡圏域の市町から委託を受け、障がいを持つ方々やそのご家族等からの相談に応じ、必要な情報提供および助言、障害福祉サービスの利用支援等必要な支援を行っております。

平成二十九年四月には、紫波町および矢巾町からの委託を受け、『紫波地域障がい者基幹相談支援センター』を開設し、地域における相談支援の中核的な役割を担っております。



しんせい事務室

以前は、『共同生活援助事業所新生ホーム』内に事務所を構えておりましたが、『あさあけの園』の新築に伴い、事務所を移転いたしました。

『しんせい』は、三つの相談室を有し、車いすの方が二階に行けるようエレベーターを取り付けている他、生活困窮者の緊急一時受け入れにも対応できるように和室も用意しています。

また、二階には、調理設備を併設した多目的室があり、多目的室は、会議やサークル活動の場として地域の皆様に貸し出すことも可能となっております。



キッチンにはガスとIHの2種類設備しています。



多機能型事業所あさあけの園 開設10周年記念式典



この度、あさあけの園が当法人に経営移管され十周年を迎えることを契機に、これまでより三倍の広さを持つ新施設が完成いたしました。

国・県の施設整備補助金をいただくとともに、法人内の各施設からも多大なる協力をいただき、さらに家族会からご寄付をいただくなど多くの皆様のご支援に感謝申し上げます。

あさあけの園の運営に関わった多くの皆様が出来上がった『明るく、楽しく、元気よく』のもと、家庭的な雰囲気大切に運営して参ります。今後とも、当施設の運営に際し、関係者の皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

あさあけの園
施設長 佐藤 章夫

Q 新しい建物は
どうですか？

建物が新しくなって良かった。
トイレが気持ちよくできて嬉しい。
メール便頑張ります。

Q 今年の思い出は
何ですか？

グリーンホテルでやった忘年会。
カラオケでセーラムーン歌いました。



てらち 寺地
みき 美樹さん



かんぼう のぶあき
寒風 信昭さん

フラッグアートに挑戦

第二新生園 播摩 光一



当園の生活介護サービスでは、以前から様々な作業や創作活動を取り入れており、その成果の発表する機会を模索してきています。

今回初めて「盛岡フラッグアート展」への出展に挑戦しました。

ご存知のとおり、この催しは、盛岡市内肴町を会場に毎年開催されるアートの祭典で、横二百センチ縦二百八十五センチもの大きな布にそれぞれテーマで描画やデザインをします。出来上がった作品はアートド通りに展示されますので、訪れるたくさんの方々に見ていただくことができます。

まず利用者さんと話し合い、みんなに愛着のある『輝く命』（法人の理念）をテーマに制作が始まりました。下絵にクレヨンや絵の具で色を塗ったり、自由な形を描いたり、絵

の具をつけた手や足を押し付けたりしました。利用者さんそれぞれができる方法で、できるだけ多くの利用者さんに参加していただくことを大切にしました。

いよいよ九月三十日から約一ヶ月間、作品が展示されました。

利用者さんと一緒に訪れると、たくさんフラッグの中に自分たちの『かがやくいのち』を見つけ、歓声とともに「来年もまた作りたい」とのことばが聞かれました。

この挑戦は、利用者さんに創作することの楽しみや日常生活における満足感を味わっていただけたと同時に、地域の方々に第二新生園を知っていただく絶好の機会になったと思っております。そして、今から次回に思いを馳せています。



みんなで記念写真☆

施設 Diary

今年度を振り返って

みちのく療育園 齋藤 賢

昨年の「開園十五周年」を経て、二〇一七年のみちのく療育園は、さらに新しい動きのあった一年になりました。

まずはバスハイク。今年は「春の外出」と行事名も新たに、あえて近隣の施設（やばーく）で、ゆっくりと思いたい時間を過ごせるよう企画しました。買い物やケーキ屋さんでスイーツ、ゲームセンター、天候にも恵まれ楽しい思い出になりました。



お散歩日和♪

開設以来初となる「夜の外出」も実現しました。紫波町のショッピングモールで夕食、花火鑑賞。以前、園庭で職員が打ち上げた花火に興じたこともありましたが、

間近で弾ける夏の夜空の本格的な彩りに照らされた素敵な笑顔が見られました。



秋の外出に関しては、二〜三年の期間をかけて皆さんが参加できるように継続して企画しております。

近隣小学校のご協力を得て、交流授業が行われました。疑似体験や福祉用具や介助の工夫などの事前授業を行った後に、実際に利用者さんとのふれあいの場を持ちました。後にいただいた感想文の「素直な想い」に有意義な活動と実感し、今後も継続する予定です。その他のトピックスは、居住棟の空調設備をリニューアルしたと。まだまだ沢山ありますが、次の機会にご紹介します。

施設や広報についての「ご意見・ご感想は、法人本部事務局までお寄せください。」